

NO.2

令和2年度事業計画（案）

社会福祉法人あおい会

令和 2 年度社会福祉法人あおい会事業計画

令和 2 年度という新しい年に変わりました。しかし、昨年よりコロナウイルスが世界に蔓延しており、福祉の世界もコロナウイルスの影響を強く受けています。

施設での集団感染、特に入所施設においては大変大きな問題となっています。

あおい会におきましても、できるだけ外出を自粛していただき、家庭や施設に感染症を持ち込むことのないよう各事業所をお願いをしています。このことにより、利用者の皆様には制限をかけることで、生活面において精神的に大きな負担をおかけしていることをあおい会職員として自覚してもらい、出来るだけ負担を緩和できるように努めていただきけることを期待しています。

このような状況下での事業計画は大変厳しいものがありますので、あおい会としましては、中長期プランの充実に向けて各事業所でビジョンの確認と実践を進めていくことで、より良いあおい会を目指したいと思います。

令和2年度事業計画書(案)

社会福法人あおい会 あさも園

社会福祉法人あおい会の経営理念に則り利用者さんの権利擁護を推進し、質の高い専門的支援の提供に努めます。自立と社会参加の促進を目指し、利用者さんが生き生きと楽しい生活が送れるよう個々に応じた日中活動の提供と、地域社会と一体となった取り組みを積極的に展開していきます。そのために、利用者さんの意思決定に配慮した支援や様々な地域貢献を通じて共生社会の実現に寄与できる信頼される施設運営を推進していきます。

【事業の内容】

◇生活介護事業 (利用者数 33名)

「毎日、楽しく通える施設を目指しています」

利用者さんの日常生活の自立に必要な支援(食事・排泄・整容・着脱衣等)の提供、また創作活動(お花・フラダンス・太鼓・軽運動・手話ソング・音楽鑑賞・創作・ビデオ鑑賞・カラオケ・調理実習等)や生産活動(スポンジの袋詰め作業等)の機会を提供し、豊かな生活が送れるよう支援していきます。

◇就労継続支援B型事業 (利用者数 25名)

「働く喜びが実感できるよう支援する」

生産活動の機会を提供し、生産する喜び、働くことへの自信や自主性を引き出し、さらにその力を伸ばし、自立と社会参加を推進していきます。

やりがいを感じながら生産活動(クッキー製造作業・スポンジの袋詰め作業)を提供し、就労意欲の向上に努め、作業に自信と誇りが持てるよう支援していきます。

また営業活動の強化・作業効率の向上に努め、工賃の引き上げを図っていきます。

【健康管理】

利用者さん・職員の健康管理を図るため健康診断及び感染症予防対策を実施します。嘱託医との連携を密にし、健康維持・増進を図っていきます。

- ・嘱託医による定期健康診断(2回/年)
- ・看護師による健康管理、身体測定等
- ・インフルエンザ・新型コロナウイルス等の感染症対策は、利用者さんの安全管理の観点から極めて重要と捉え、園と家庭で情報を共有し対応マニュアルを基に予防と拡散防止に対応します。

令和2年度太陽の丘事業計画書

(1) 施設の概要

- ① 所在地 和歌山県海南市上谷777-1
- ② 利用定員 生活介護：87名 短期入所(空床型)：6名
施設入所支援：70名
グループホームふぁんふぁん：8名
グループホームかつらぎ荘：4名
- ③ 居室構成 一人部屋(8) 二人部屋(7) 四人部屋(14) 計29室

(2) 運営方針

社会福祉法人あおい会の経営理念に則り、「利用者さんの生命・諸権利を保障」し、なおかつ一人一人の個性を尊重した利用者さんが安心・安全に生き生きと楽しい生活が送れる高品質で多様なサービスを提供し、施設らしさを感じさせない家庭的なサービス提供を基本とします。

(3) 生活支援

- ① 「生活の場」としての衣食住の環境の充実を図ると共に、利用者さんの高齢化を念頭に置き、安全安心に生活できる場の提供を行えるように取り組む。
- ② 日常生活に必要な基本的習慣の自立を目的に、身辺処理・清掃活動に取り組み、更に毎日の積み重ねによって社会的適応性を育成し、地域生活への移行を念頭においた支援に取り組む。

(4) 日中活動

〔花係〕

- ① 空き缶及び古紙リサイクル作業・レクリエーション等を通じ、個々が役割をもって活動に取り組み、各自にやりがい・生きがいを持ってもらう。
- ② 係に所属するもの全員で、何事にも協力して取り組むことを意識してチームワーク・協調性を育む。
- ③ 活動を通じ生活全般の潤いになるよう役割を持つことで、達成感・充実感を持てるような支援を提供する。

〔鳥係〕

- ① 活動内容は体操・紙芝居等のレクリエーション活動を中心に行い、個々に発揮出来ることを意欲的に取り組んでもらえるよう支援する。
- ② リフレッシュのため、レクリエーション及び外出の機会を提供する。レクリエーションの内容も公共施設等を利用し、音楽・DVD鑑賞を提供する。
- ③ リラクゼーションを取り入れ、ダンス・マッサージ等も実施し健康維持・リフレッシュにつながるものを提供する。

(映画鑑賞・遊園地・温泉・保護者面会・カラオケBOX等)

※ 前年度一人あたり年4回程度外出しています。

(8) 看護係

- ① 利用者さん及び職員の健康維持増進を図る。
- ② 日々の健康管理により利用者さんの健康をサポートし、早期の対応・処置に努め予防策の強化に取り組む。
- ③ 実施予定/検温(3回/日)・通院・検便(1回/月:対象者)
血液検査(1回/年)・がん検診(乳がん・子宮がん)
歯科健診(1回/年)・集団検診(胸部X線・検尿 2回/年)
インフルエンザ予防接種(1回/年)・理美容(1回/月)等

(9) 苦情解決委員会

- ① 「福祉サービスにおける苦情解決要綱」に基づく対応
苦情を受けての迅速・適切な対応により、利用者さんの満足感・安心感を高めることや利用者さん個人の権利を擁護する。
- ② 苦情が密室化せず社会性や客観性を確保し、一定のルールに沿った方法で解決を進めることにより、太陽の丘への信頼や適正性の確保を図る。
- ③ 職員が些細な問題であると感じる事案においても聞き流すことがないよう、どのような苦情内容においても対応することを大原則とする。

(10) 行き過ぎた支援(虐待防止)研修の実施。

- ① 年3~4回虐待防止、権利擁護研修を実施する。
- ② 虐待を早期に発見し根絶するために職員同士のチェックを促進する。委員会(主任、課長にて構成)を設置し、特にグレーゾーンの(当事者が虐待とは感じないが客観的に見て疑いを感じる)事案や支援等に問題が有る場合は、委員会に口頭や報告書での報告があり、それを協議することによって虐待防止の対応・対策及び改善を図るものとする。
- ③ 併せて人権に配慮された好ましい対応等があった際にも指摘することによって、他の職員にも好ましい対応が広まるといふこともある。

(11) 年間行事

- ① 地域の方々と交流することで、太陽の丘への関心・理解を深めて貰う行事の開催。
- ② 家族の方々と楽しいひと時を過ごし、交流を深め家族のきずなを確認する。
- ③ 利用者さん個々の意見を最大限に尊重した、行事の開催に取り組む。
- ④ ~~泊旅行・日帰りバス旅行は、希望・体力に応じ参加できるようにする。~~
- ⑤ 令和2年度行事計画(別紙参照)

※④新型コロナウイルス対応にて自粛。

年間行事計画担当表			〔令和2年度〕	
年間行事計画表			〔令和2年度〕	
月	行 事 名		主 査	副主査
4	太陽の丘祭り	4月2日(木)	鎌田綾子	林和宏
7	夏祭り	7月4日(土)	堀田真理子	高尾信嘉
	プロ野球観戦(阪神戦/京セラドーム)	8月9日(金)	余暇学習支援 (楽々アッププラン)	
9	天理教様清掃奉仕活動	9月9日(月)	掃除担当	
	敬老祝い	9月9日(水)		
	長寿の会	9月16日(水)	阪口元樹	田中裕子
10	秋季野外昼食会	10月16日(金)	刑部正浩	冷水未歩
11	第17回和歌山県ゆうあいスポーツフェスタ	11月15日(日) ※前日準備	垣内直見	中村浩基
12	クリスマスパーティー	12月13日(日)	南亮次	道場真紀
	冬季帰省	未定		
3	懇談会	3月7日(日)	中井公男	福井宏行 西井小百合 北村真嗣
			〔令和3年度〕	
4	太陽の丘祭り	4月4日(日)	中尾直子	中嶋康晃

療育センターA O I 令和2年度事業計画（案）

<もなみ・リアン・エトワル・療育センターA O I・相談支援体制整備事業
>

もなみ・リアン（生活介護事業・就労継続支援事業B型）

『利用者、保護者の方が、「利用したい」と思って頂ける事業所』になるよう、一人一人の思いにしっかり耳を傾け、利用者さんの体調、健康状態に配慮し、個別支援計画に沿って充実した活動を提供するように努めます。

内部、外部研修を積極的に取り入れ、また自立支援協議会に参加し、スキルを高めるとともに、地域の福祉向上に貢献していきます。

もなみ 生活介護事業

現在、定員15名で契約者数が現在21名です。重度の利用者さん、車椅子使用の方が居り、また作業場も就労と併用していることもあって、現状の建物のスペースからこれ以上の定員増は難しく、新しい利用者の受け入れも希望者がありながらお断りさせて頂いている状況です。利用者数は来年度も変更はありません。

来年度の取り組みについては表1の支援方針に基づき、利用者さん一人一人の特性やその日の体調に合わせて就労活動（ブラシ加工）、体力の維持向上を目指したウォーキングや軽運動、気分転換のためドライブやカラオケ、また年間を通して季節感あふれる行事等（主な活動内容は下記表、また年間行事については別紙年間行事計画表をご覧ください）を提供しもな

ど色々な思いを持たれており、その思いに応えられるように取り組んでいきます。

取り組み内容として表2の支援方針に基づき、積極的に地域のイベントにも参加し自主製品の売り上げアップ、また雑貨事業（ブラシ）も受託量を増やし、利用者、職員が協力し合って工賃アップに繋げて行くとともに、一般就労やA型事業所を希望される利用者さんには状況に応じて見学や実習を通し夢の実現に向けて一緒に取り組みます。

また、仕事以外の面においても、随時相談に応じ、季節行事や外食にて

令和2年度もなみ(就労継続支援B型事業)支援方針		表2
①利用者様に楽しく作業に取り組んでもらえるような関わりを持つ		
②作業環境の最適化に努める		
③利用者様のニーズに即した作業・活動の提案を行う		
④他者とのコミュニケーションを円滑に行うための支援を行う		
⑤クッキーの販売力の向上を意識した商品作り、販売方法を検討していく		
⑥継続した利用を利用者が行っていけるよう、傾聴とエンパワメントに努める		
活動名(施日時)	取り組み内容	(成果・課題等)
クッキー作り(毎日)	クッキー攪拌、形成、パッケージング	通常作業・安定した商品作り、衛生面を意識する
ブラシ作業(毎日)	ブラシの袋詰め (小袋詰め、大袋詰め)	集中して取り組んでもらえる環境設定に配慮する
ハンドメイド作業 (毎日)	クロスステッチでの個もの作り (ヘアゴム等)、つまみ細工	自身の目標を考慮しながら、作品作りを一緒に考える
親睦交流会 (1回/2ヶ月)	各所での外食、映画鑑賞(自由な外食が困難な方へ)	作業の気分転換・利用者間の親睦を深めてもらう
出張販売 (年間2～5回程度)	行事・イベントなどで販売員として参加する	接客を通じて利用者様の社会性構築を支援する
課外活動 (年間2～5回程度)	初詣、花見など	作業の気分転換・季節行事を楽しんでもらう

交流を図り気分転換やコミュニケーションをしっかりとっていきます。

また、和歌山県障害者のスポーツ大会や和歌山県ゆうあいスポーツフェスタへも積極的に参加します（別紙年間行事計画表参照）。

エトワル（児童発達支援・放課後等デイサービス）

現在12名の登録者で、楽しく過ごして頂く中、療育面からも支援していけるよう活動しています。

今年度、利用者獲得、保護者からの要望により事業の開所時間を平日、放課後から17：30に変更します。長期休暇などは、今まで通り9：30～15：30です。また、個々の状況に応じて個別対応も考えていきます。

令和2年度は表4（次ページ）の支援方針のもと、引き続き地域で暮らしている障害児の放課後及び長期休暇中の活動の場所として実施していき、利用者さんの安全により一層配慮しつつ充実した活動の場所となるように努めていきます（主な活動内容は次ページ表、また年間行事については別紙年間行事計画表をご覧ください）。今後の事業形態として、今年度度同様、就学している児童だけでなく、就学直前の児童（小学校入学前の春休みなど）についても受け入れていくと共に、今までも要望として挙がっている事業所からの送迎についても実施していけるよう検討を重ねていきます。

す。

様々な相談に対応し、他事業所との連携、協働を図りながら運営していきます。また、研修等に積極的に参加し、個々のスキルアップをしていきます。

